

# UM工程進捗 リリースノート 2212E

発行日	2023/01/16
最終改訂日	2023/04/04

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

# 目次

目次	1
改訂履歴	2
1. 概要	3
2. 詳細	4
2.1. 設計変更	4
2.2. 製造オーダーロット分割	4
2.3. 標準原価項目変更	4
2.4. 生産計画、製造オーダー: バッチ数量初期値を変更	4
2.5. 部品表: 工程リソース編集機能追加	4
2.6. 部品表: ツリー表示欄のスクロール表示	5
2.7. 部品表: 工程手配明細のコピーに管理項目マスタを追加	5
2.8. 別品目での同一採番ルール利用機能を追加	5
2.9. 不具合修正	5
3. アップグレード手順	8
4. UM工程進捗用設定	11
4.1. UM共通用設定	11

## 改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2023/01/16	1.74	発行
2023/01/20	1.75.2	● 不具合修正を5件追記
2023/01/31	1.76.3	● 不具合修正を5件追記
2023/02/06	1.76.5	● 不具合修正を2件追記
2023/04/04	1.76.5	● 不具合修正を1件追記

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

# 1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

- 設計変更
- 製造オーダーロット分割
- 標準原価項目変更
- 生産計画、製造オーダー: バッチ数量初期値を変更
- 部品表: 工程リソース編集機能追加
- 部品表: ツリー表示欄のスクロール表示
- 部品表: 工程手配明細のコピーに管理項目マスタを追加
- 別品目での同一採番ルール利用機能を追加
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [ 詳細 ] よりご確認ください。

アップグレード後の

各変更による設定の追加等につきましては、[ UM工程進捗用設定 ] よりご確認ください。

## 2. 詳細

### 2.1. 設計変更

所要量計算または工程展開で作成されたオーダーに対して追加・変更することができます。新たに計画外の作業オーダーを作成することができます。また、計画済み作業オーダーの内作から外作への変更等も可能です。

※詳細は「UM工程進捗:ユーザーガイド」の「作業オーダーを追加・変更する(設計変更)」をご参照ください。

※ご利用には製造オーダーにボタンの設定が必要です。設定方法は「UM共通のリリースノート」の「ページレイアウトのアクション変更」をご参照ください。

### 2.2. 製造オーダーロット分割

所要量計算または工程展開で登録したオーダー情報を分割することができます。

原材料の入荷遅れなど、予定外の分納が発生した場合に、当初計画したオーダーを分割することで、分納前後の製造分それぞれを工程管理することができます。

指定した作業オーダーを起点にして後工程のオーダーを分割します。指定した分割オーダー数や開始予定時刻にしたがって、オーダー数量ならびに納期や開始予定時刻などの日時項目を算出します。

※詳細は「UM工程進捗:ユーザーガイド」の「製造オーダーを分割する」をご参照ください。

### 2.3. 標準原価項目変更

製造間接費は、間接労務費/間接経費に分離しました(製造間接費を間接経費に変更、間接労務費を追加)。

変動費、固定費は、別途の管理とするために廃止しました。

※詳細は「UM共通 リリースノート」の「オブジェクト/項目への追加変更情報」をご参照ください。

### 2.4. 生産計画、製造オーダー: バッチ数量初期値を変更

生産計画新規作成画面のバッチ数量初期値を下記のように変更いたしました。

構成ヘッダバッチ数量に設定されていればその値を表示、なければ工程手配ヘッダマスタバッチ数量を表示します。

### 2.5. 部品表: 工程リソース編集機能追加

部品表画面から工程リソースを編集できるようになりました。

「工程詳細」の各明細行にある▼ボタンからご利用いただけます。

※詳細は「UM工程進捗マスタ:ユーザーガイド」の「工程詳細について」をご参照ください。

## 2.6. 部品表: ツリー表示欄のスクロール表示

構成明細が多数ある部品表を表示する際に、縦にスクロール表示するように変更いたしました。  
部品表と品目・構成詳細情報を同時に確認いただけます。

The screenshot displays a software interface for part management. On the left, a scrollable list of parts is shown, with the selected part 'fuka-Nv01-0200 子2.0.0 (構成1000×工程1)購買' highlighted. On the right, a detailed view of this part is shown, including fields for '品目・構成詳細' (Item/Configuration Details) and '標準原価情報' (Standard Cost Information). A yellow callout bubble points to the scrollable list with the text: '部品表をスクロールすることで、品目・構成詳細を並べて表示'.

## 2.7. 部品表: 工程手配明細のコピーに管理項目マスタを追加

工程手配明細のコピーをしたとき、管理項目マスタもコピー対象に追加しました。

## 2.8. 別品目での同一採番ルール利用機能を追加

品目が空の製番採番定義マスタを用意することで、別品目で共通の製番採番体系を使用できるようにしました。

※登録方法は「UM工程進捗マスタ: ユーザーガイド」の「製番採番定義マスタ」をご参照ください。

## 2.9. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

ver.1.74

- 支給実績一覧入力  
削除したとき、子品目所要量の支給済数は0に戻っていましたが、完了フラグ・支給済フラグがOffになっていませんでした。
- 実績入力  
連産品・副産物のロット管理区分が「自動採番」に設定されていてもロットNo.が採番されていませんでした。

- 一括所要量計算、一括工程展開  
一括所要量計算最大バッチ数を超える件数(初期値:30件)を選択したとき、アプリケーションエラーが発生しました。一括所要量計算最大バッチ数を超える件数を選択したとき、入力エラーのメッセージを表示する様に修正しました。また、一括所要量計算最大バッチ数の初期値を200に変更しました。

## ver.1.75.2

- 設計変更  
工程を追加したとき、年を跨ぐ場合の開始/終了予定日時の計算が不正になっていました。
- 設計変更  
4行目以降の工程のカレンダー選択が見切れていました。スクロールバー表示ではなくページング表示に変更しました。
- 部品表  
間接労務費が原価合計にカウントされていませんでした。
- 実績入力  
実績入力のリソース実績画面にて金型のショット数を入力して一時保存ボタンを押下しても金型マスタの累積ショット数に加算されませんでした。
- 実績入力  
実績入力のリソース実績画面にて開始/終了ボタンを押下すると、良品数/不良品数の初期値がクリアされていました。

## ver.1.76.3

- 作業オーダー  
詳細ページに設計変更内容項目が配置されていませんでした。
- 設計変更  
工程を追加したとき、後続の工程の開始/終了予定日時の計算が不正になっていました。
- 設計変更  
未発注の外注工程で依頼先を変更したとき、購買オーダーの仕入先、支払先、単価が反映されていませんでした。
- 設計変更  
工程を追加したとき、後続の工程の開始/終了予定日時の計算が不正になっていました。
- 実績入力  
標準原価オプションを利用している場合に発生します。実績原価の直接経費が税込み金額になっていました。税抜き金額に修正しました。

## ver.1.76.5

- 所要量計算  
購買オーダーを作成する際、数量の計算に原単位分母数の考慮が漏れていました。原単位分母数を考慮し、子品目所要量の所要量と同じ計算式に修正しました。

- 所要量計算  
購買オーダーを作成する際、数量を小数点6桁になるよう端数処理していました。端数処理を小数点4桁にし、作業オーダーや子品目所要量の数量と同じ値になるよう修正しました。
- 実績入力  
子品目消費実績入力画面で同一品目の消費実績がある際に、画面上では在庫が足りているのにも関わらずマイナス在庫チェックのエラーが発生してしまうことがある不具合を修正しました。

### 3. アップグレード手順

パッケージURL:

- ① Schema
- ② Label
- ③ Utility
- ④ Domain
- ⑤ Service

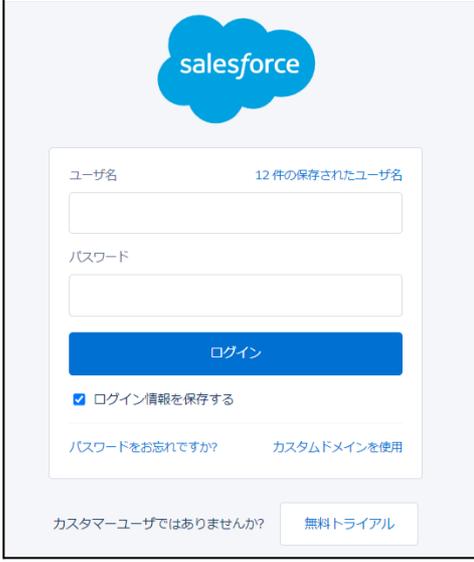
①～⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート 2212E」に記載しています。

- ⑥ 工程進捗 ver1.76.5

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004Nz54AAC>

<手順>

- 1) **本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。**  
上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。  
(例) <https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID>
- 2) ①Schema～⑤Serviceのアップグレードを実施します。  
「UM共通 リリースノート 2212E」を参考に、URLの実行を行ってください。  
※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。
- 3) ⑥工程進捗のアップグレードを実施します。  
上記パッケージURL⑥にアクセスします。
- 4) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



The image shows the Salesforce login interface. At the top is the Salesforce logo. Below it is a form with the following elements:

- A text input field for the user name, with a link to "12件の保存されたユーザ名" (12 saved user names).
- A password input field with a "パスワード" (Password) label.
- A blue "ログイン" (Login) button.
- A checkbox labeled "ログイン情報を保存する" (Save login information), which is checked.
- Links for "パスワードをお忘れですか?" (Forgot your password?) and "カスタムドメインを使用" (Use custom domain).
- At the bottom, there are links for "カスタマーユーザではありませんか?" (Not a customer user?) and "無料トライアル" (Free trial).

- 5) アップグレード実行画面が表示されます。  
※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。

<実行手順>

- a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。

- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。  
 c) 「アップグレード」ボタンをクリックします。



アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。



- 6) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。  
 インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。  
 アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。  
 ※パッケージごとに、手順 3)～ 6)のアップグレード作業を繰り返し行ってください

設定
ホーム
オブジェクトマネージャ

インストール

アプリケーション

パッケージ

インストール済みパッケージ

機能設定

分析

Analytics

自動インストールアプリケーション

探しているものが見つかりませんか?  
グローバル検索をお試しください。

インストール済みパッケージ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。パッケージのインストールの詳細はこちらをご覧ください。

アプリケーションやコンポーネントは、パッケージでインストールされます。インストール後は、すべてのカスタムアプリケーション、オブジェクト、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースできます。コンポーネントは、「リリース」をクリックして、他の設定機能を使用して権限にリリースしたり、グループ単位でリリースしたりできます。

インストール済みパッケージの権限があるため、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、【アンインストール】をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、【ライセンスの管理】をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了
アンインストール	snpss_um_label	Synapse Innovation Inc.	1.3	snpss_um	2022/08/08 18:52	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	UMProductionManagement	Synapse Innovation Inc.	1.13	snpss_um	2022/08/08 18:06	✓	2	2	0	合格
アンインストール	snpss_um_schema	Synapse Innovation Inc.	1.14.1	snpss_um	2022/08/08 18:56	✓	0	5	1	不合格
アンインストール	snpss_um_schema	Synapse Innovation Inc.	1.15	snpss_um	2022/08/08 18:46	✓	0	73	129	不合格
	説明 0f12c00004c0RvAAK									
アンインストール	snpss_um_service	Synapse Innovation Inc.	1.2	snpss_um	2022/08/08 18:57	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	snpss_um_utility	Synapse Innovation Inc.	1.6	snpss_um	2022/08/08 18:53	✓	0	0	0	合格

アンインストールされたパッケージ

アンインストールされたパッケージのデータのアーカイブはあません。

## 4. UM工程進捗用設定

UM工程進捗の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。  
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

### 4.1. UM共通用設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。  
下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。  
「UM共通リリースノート 2212E」